八夕 日刊
磐城時報

福島縣石城郡平町紺屋町十四
編輯兼發行人　岡田弘盛
印刷人
福島縣石城郡平町紺屋町十四
印刷所　加納活版所
發行所　磐城時報社
一部金貳錢　一ケ月金參拾錢
廣告料一行十四字詰金五十錢
▲日曜（日曜、祭日）休刊

壺網漁業は 鰹漁に大脅威 組合長から陳情

石城郡を始め濱三郡地方沿岸の小漁業者間に最近壺網漁業が盛んになりそのため本縣漁業界の主要事業たる鰹漁の餌料漁獲を目的とする棒受網漁業に大影響を與へつゝあるので鰹漁の擁護運動が起り過般各種漁業組合長から縣當局に陳情する處があつたが、縣では水産試驗場をして調査せしめた處壺網漁場の位置については深重の考慮を要し殊に大浦、小名濱、菊田浦、其他諸戸沿岸等は鰹餌料漁獲用棒受網使用の重要漁場であるから壺網の如き定置漁具の布設を見る時は操業に支障少なからずといふ狀態なので縣では近く之に對し何等かの處置に出づる筈である。

▲壯丁虎疫檢診　平町

の壯丁トラホーム檢診は八日午前九時平町役場に於て賀澤眼科醫出張檢査を行つた處百十名中患者僅か十名で好成績であつた

知事代理を迎へて けふ磐中卒業式 巣立つた百五十の卒業生 榮ある優等生は二名

磐城中學校第二十七回卒業式は八日午前十時同校講堂で擧行されたが定刻唐土校長擧式の挨拶をなし君ケ代合唱、勅語捧讀等の後知事代理大久保學務部長、唐土校長の告示あり次いで來賓井上茂作、仲里文平、馬塲豊次郎各氏の祝辭等の後在校生總代四年生黒木房平君送辭をのべ之に對し卒業生總代猪狩吉隆君の答辭あり午前十一時半閉式したが來賓五十余名に達した。けふ同校を巣立つた卒業生は百五十四名であるが、學業操行共に優秀で優等生の榮譽を擔つた二君は猪狩吉隆君は双葉郡の出身殊に英語にかけては天才的に優れてゐたと教師さへ驚いてゐる、もう一人の秋山將義君は山田村の出身で更に東京高等師範に進む筈である。

▲小川江改修工事　四

倉町外五ケ村に濫漑する小川江

筋水利組合昭和二年度修繕工事は來る十八日から斷水をなし四月一日から工事に着手し同二十日迄に完成し同時に通水の豫定であるが、苗代種蒔きは四月二十六日頃からであるからそれには何等支障を來さないと。

▲馬耕傳習會　縣産馬畜

産組合では川淵組合長の計劃により縣下に馬耕傳習會を行ふ事になつたが最初は四月中に平町に傳習所を設け郡内各町村から講習生二名宛を選んで受講せしめ各町村の指導員となる筈であるが更に石城郡の講習生中から二名を選拔し今秋郡山市に催ほす縣下の競犂會に出席せしむる豫定である。

貯水池の 地鎭祭

平水道部の擴張工事たる好間村地内上の原の貯水池工事は工費一萬余圓で昭和二年度中に完成す可く七日午前十一時伏見町長水道委員等出張して地鎭祭を行ひ直ちに着工した。

始末に困る 石城の小社寺 偏つた敬神思想から うつかり整理も出來ぬ

石城郡内の社寺及び教會中神社は縣社四、郷社十四、村社一〇九、小社二一〇、計三三七でこれ等神社を司どる神職は四十七名である、佛寺は眞言宗七十、淨土宗三十、曹洞宗の三十二その他二十一、計百五十四寺で僧侶の數は九十二名である、尚神道の布教所が十七ケ所で同布教師が十七名、佛道布教所が八ケ所、同布教者が八名、キリスト教會が四ケ所で同布教師が四名である、而してこれ等社寺に要する社費は多額に達するので小社寺の如きは廢社にするか若しくは一纒めにするか兎に角社寺の整理に就て當局に於ても相當苦心を拂つてゐるが郡内町村民の偏つた敬神思想から容易に整理が出來難い狀態で當局では極力廢合促に頭を痛めてゐる。

鑛夫組合 聯合會發會

日本鑛夫組合は磐城炭礦の爭議以來石城地方に益々勢力を擴張するに至つたが此の機會を利用し日本鑛夫組合常磐地方聯合會を組織す可く本部の關谷、菊川兩氏等が奔走の結果六日午前十時から内郷村綴の支部に第二回準備委員會を開き協議の結果來る二十日頃同村内郷座に於て發會式をあげる事になつたが、當日は本部の麻生、三輪、加藤、關家、菊川の諸氏臨席筈である

新進の洋書家 大森氏の畫會 平地方有力者が發起

全國的の新進洋書家白井遠平翁の令孫大森義夫氏は天稟の畫才を有し東京美術學校在學中から將來を囑目されてゐた人で同校の所藏品中に氏の在學當時の處女作も加へられた程の天才であるが、先年在學中の力作「三昧線持てるポーズ」を帝國美術院展覽會に出品し堂々大家の作と共に入選したのを始め「文子と人形」「人物」等續いて出品しその都度入選し今や押しも押されもせぬ大家となつたが、今回平地方知名の有力家は氏のため平町で畫會を催す事になつたが、將來を期待されてゐる大森氏の畫會だけに今から人氣を集めてゐる。

▲菊地博士歸平　平町

磐城共濟病院長醫學博士菊地泰助氏は父君が逝去したので久しく郷里小田原に歸省中であつたが、七日歸平し八日から平常通り一般診療に從事してゐると。

一の井の 洋食デー

—本紙讀者を優待

平町田町一の井では八日、九日の兩日洋食デーとして國際料理研究所特派講師杉林太美雄氏を招ぎ吟味した調理を提供する筈で本紙刷込み券を持參注文すれば添物を進呈すると。

▲四倉信用協議　四倉

町信用組合振興協議會は五日午後一時から同町小學校に開き町會議員、信用組合役員その他出席、縣からは半井内務部長、里見事務官、尾形、坂野兩主事、瀧川農林技師等臨席し組合振興につき指導し同六時から四倉座で信用組合趣旨宣傳の活動寫眞を催ほした。

▲蓮沼夫人法要　同業

磐城新聞社蓮沼龍輔氏未亡人一周忌は今八日に當るので長橋町性源寺で法要を營んだ。

◎入學進學の御用意に
學生カバン
學生帽子
手提鞄 ズック フイルト 革 各種
豊富の品より御選びを
平町四丁目
に 鶴屋洋品店
電話百四十番

面目を一新して 「入學者を待つ私立校」

（一）　平町　磐城佑賢學舍

平町城山私立磐城佑賢學舍は現校長大和田豊吉氏が去る大正二年當時石城地方に無資格者の小學校教員が非常に多いのを慨して有資格な教員養成の目的で創立したものである其の頃大和田氏は十年間も努力すれば正教員の不足は大部分緩和されるだらうと思つてゐたさうだが教員不足の聲は日に増し喧しく現在に於て石城郡の正教員數は漸やく六十六%に過ぎない有樣である、即ち佑賢學舍が將來更に努力を要する点はこゝに存してゐる。同校では本科の外に大正七年から普通科を設け中學校と同等の學力を授ける事とし二年若くは三年間に中學校と同等の教育をなし得る外一面に於ては地方農村の堅實な中心人物を養成し得るに至つた。今日までの卒業生は男子五百余名、女子三百余名、普通科二百八十名を出し來る卒業式にも本科普通科を合せて百三十余名の巣立ち者を出す盛況は大和田氏の努力と人格による結果であらねばならぬ現在の職員は大和田校長の外大平、小野、松本、中根の諸氏何れも忠孝立憲勞働主義を標榜し精神教育に重きをおいてゐる、即ち今や地方唯一の私立校として信望を擔つてゐる所以である。いま同校の信望がいかに廣いかを示すに一例を擧ぐれば、現在生徒の出身地を調査するに、郡外の者は久之濱、大久、廣野、木戸、龍田、長塚、相馬、大甕、大野、田村郡夏井、西白河郡大津、松岡、北中郷、平潟等遠距離よりの入學者があるので同校では寄宿舍の設備をなし之等の爲めに備へてゐる。同校では目下新學期を控へて新入學生本科百五十人、普通科百五十名を募集中であるが志願者多數の見込みであるため入學試驗を行ふ事も余儀ない事であらう。

鎮咳祛痰（セキドメタンキリ）

穴山せきのーぷく藥

名聲高き穴山泰治先生の遺法に現代學理上（藥物中）の醇良なる元素を最も有効に合劑し萬人の體質に適ふやう安全に配劑したれば如何なる惡性の痰咳も恐るに足らず効果と共に咽喉を爽快ならしむる無比の貴重藥也

主効
○痰咳　○喘息　○感冒咳　○肺病咳　○血混咳　○臭氣咳　○咽喉痛　○空咳　○百日咳　○小兒咳

定價　廿錢　卅錢　五十錢　一圓半　參十錢

本家　東京深川　比田東元堂　高橋通　振替東京三五〇七二

▼申込「カワセ」又は振替▼
▼全國藥店にあり▲

特約店　平町四丁目　關内藥局　電話四〇番

カシキモノ
貸衣裳
平古鍛冶町一
茗荷屋貸衣裳店

投票用紙
「模擬平市會議員」

滋養强壯藥酒
粟守酒
大平屋藥舖
平一町目　電六四二

松ヶ岡公園の
冬の情景!!!
靜かに深みゆく
冬の
公園池畔に
御來遊あれ
松ヶ岡公園池畔　電話二二六番

正札堂
期節向既製品は定評ある……
の製品を召し給え
目下格安品豊富に
取揃へ申候

八日九日の兩日は一の井の
「洋食デー」
甲三十錢
乙廿五錢
味ナトリウムエン、カリウムエン等に付ては特に注意致しますから是非御試食下さい。
國際料理研究所特派講師　杉林太美雄
本券御持參に注文の方に限り添物進呈致舛
電話一六七番　平田町　一の井

昭和新春の流行品!!!
春のメリヤス
……在庫品豐富
良品廉賣の買ひ良い店
山家メリヤス店
平町一丁目（電話六〇五番）

私立志賀裁縫傳習所生徒募集
一般和服裁縫教授…普通科、速成科、研究科
ミシン裁縫教授
作法折紙及ビ水引掛方教授…全數廿八種
手藝（盛繪手藝…クレープ手藝　レース編物…其他種々）
右何レモ短期ニテ習得セシム　詳細規則書進呈
◉申込期日　三月卅一日マデ
◉授業開始　四月七日ヨリ
◉申込所　福島縣平町字紺屋町一三
志賀運動着販賣部
電話六四七番

「平模擬市會」市會議員得票

六三二票　齋藤英三郎氏

六一六票	吉田寅之輔氏
五四〇票	井上貞次郎氏
三一八票	白井一郎氏
三一〇票	高橋龜松氏
二八六票	綠川喜三郎氏
二八一票	三森虎雄氏
二四二票	山野邊東次郎氏
二四一票	馬目雅治氏
一八〇票	鈴木昌雄氏
一七〇票	渡邊源吉氏
一五六票	諸橋守次氏
一五六票	吉村安次郎氏
一四四票	眞木桓氏
一四〇票	瀧澤俊平氏
一三三票	酒井清氏
一三二票	熊謙次郎氏
一三〇票	柴田德二氏
一二三票	大森勇氏
一二〇票	須田甚太郎氏
一一二票	萩原義雄氏
一一二票	山崎德次郎氏
一〇七票	關内正一氏
八十九票	鈴木武雄氏
八十八票	馬目武之助氏
八十八票	保坂龜八郎氏
八十一票	高倉精一氏
六十八票	横山顯氏
六十二票	山田盤麿氏
六十二票	阿部政右衛門氏
六十二票	諸橋正次氏
六十票	櫻井清氏
六十票	山崎清三氏
六十票	三井文吉氏
六十票	猪狩庄平氏
四十六票	佐藤武之氏
四十六票	蓮沼龍輔氏
四十六票	木田藤次郎氏
四十五票	海老原章四郎氏
三十六票	多田井笑次郎氏
三十四票	中野康平氏
三十二票	諸橋元三郎氏
三十一票	草野順平氏
三十一票	鈴木邦三郎氏
二十八票	鷹崎正見氏
二十五票	關内喜久次郎氏
二十三票	杉本榮一氏
十五票	山野邊大五郎氏
十二票	千葉彦治氏
十一票	坂本隆藏氏
十票	吉田喜代治氏
九票	田卷榮一氏
七票	市原守馬氏
五票	長瀨延太郎氏

產婆看護婦生徒募集
一、入學資格　高等小學校卒業者若くは之と同等の學力あるもの
一、修業年限　兩科を通じて一ヶ年
一、申込期日　四月八日限り
詳細は規則書を進呈す
平町一丁目（電話三五七番）
石城產科婦看護婦學校
（寄宿自炊の便あり）

第廿一回產婆看護婦生徒募集
一募集人員　若干名
一入學資格　高等小學卒業程度若ハ同等以上ノ學力ヲ有スル者
一修業年限　兩科通ジテ一ヶ年
一申込期間　本年三月三十一日
平町南町（電話三〇七番）
平產婆看護婦學校
校長　清野キヨ

治淋新藥　ラウタール
一、其偉効顯著なるに實驗者は驚く
一、眞に淋病、消渴の特効新藥なり
一、惱み苦しむもの直ちに試みよ、必ず救はれん
定價三圓也　重症用拾圓
代理店　山野邊藥局
平町五丁目角

電話四六〇番は
美味で評判の
イワキ食堂
實習日毎月十五日（家庭料理實習所）